

1 現代文

問一 ア 衝撃 イ 築 ウ 誘惑 エ 放棄 オ 絡

問二 事実の持つ深さや豊かさを伝えることで、様々な社会的課題の解決に向けて、議論の場を提供するという役割。（五〇字）

問三 視聴者は偏見であつても自らの感情に訴えるテレビメディアの情報だけに寄り添いがちであり、感情に訴える要素が多いテレビメディアも視聴者の感情に寄り添おうとする誘惑に陥りやすいから。（八八字）

問四 経済格差の拡大によって不公平感が高まり、社会の分断が進行しつつある状況の中で、メディアの受け手は、固有の情報空間の中だけで対話を行い、より積極的に自らの感情にかなったものだけを情報の中から選ぶようになり、そうした情報をより多く提供してくれるメディアだけに接するようになるから。（二二八字）

問五 客観的な事実や真実よりも感情的に共感できる情報だけを選択する傾向が強まり、異質な他者や多様な意見を無視することで社会の分断が広がりつつあるポスト真実の時代を乗り越えるために、ジャーナリズムは多角的な情報を提示していく必要があると筆者は主張している。たしかに筆者が言うようにジャーナリズムのあり方も重要である。しかし、情報を受け止める私たちには客観的な根拠のない情報に惑わされてしまう面があることにも留意すべきである。情報の受け手である私たちが、ジャーナリズムが発信する情報を含め、さまざまな情報を客観的にとらえ、それが真実であるかどうかを見極める力であるリテラシーを鍛えていく必要もあるのではないか。（三〇〇字）

2 古文

問一 ⑤

問二 長年不動尊の火焰を上手に描くことができなかつたが、自宅が燃えさかる様子を目の当たりにし、不動尊の火焰はこう描けば良かったのだと分かり、今後の自分の絵に活かせること。

問三 仏画だけでも上手く描き申し上げるなら、絵仏師としての評価も上がり、収入も増えて、多くの家を建てることもきつとできるだろう。

問四 エ

3 漢文

問一 人が仁義に基づいた善行を積み重ねると、世の人は自然にその人に従うようになる。

問二 人皆災害を畏避するを知るも、仁義を行ふを知らず。

問三 「深い林には鳥が住み、広い流れには魚が泳ぐのと同様に、仁義を積んだ人には人が従う」という言葉の意味を理解している太宗は仁義に基づいた善政を行うはずであり、それは天下の人々にとっては幸福なことであるということ。